
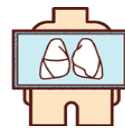




入院診療計画書「血液透析を導入される

さんへ」

(病名) (症状) (説明日) 年 月 日 (ご本人・ご家族) 確認サイン

経過	導入1回目	導入2~3回目	導入4回目~6回目	導入7回目~1ヶ月	退院時
月日・曜日	/	/	/	/	/
到達目標	□尿毒症症状が改善する		□身体的苦痛が少なく、安心して透析が受けられる	□自己管理に必要な知識や情報が得られる	□緊急時の症状・対応がわかる
治療処置	シヤントに針を2本刺します。 場合によっては足の付け根からカテーテルを入れて透析をします。 透析は初回3時間で、身体に貯まった老廃物を取り除く治療です。 状態によって、体から水分を除きます。 透析中は血液を固まりにくくする薬を使います。		透析は基本的に週3回の4時間となります。 状態に応じてダイアライザーや抗凝固剤を変更します。		
手術	□無 ・ □有 (術式:)				
薬剤服薬指導	透析が始まると薬の内容が変わります。 降圧剤・利尿剤などは医師の指示に応じて内服します。		検査の結果や身体の状態に応じて、薬の内容や量を調整します。	薬剤師より今後の服薬について説明があります。	
全身管理症状	透析の前後で体重を測ります。 5~30分おきに血圧・脈拍を測ります。 むくみや呼吸状態を観察します。 シヤントの流れ、出血や腫れの観察をします。 食事量や排尿・排便の状態・頭痛や吐き気などの症状がないかを伺います。 針の入っている部位や機械・管の観察をします。 透析が終わるまではベッド上での安静となりますので、身体の向きを変えたりなど看護師がお手伝いします。 その他変化があればお知らせください。 透析終了後は針を抜いた跡をロールで抑えます。 4回目位から透析終了後、シヤントの止血およびベルト除去の練習をします。				
検査	採血・レントゲン・心電図検査があります。また入院中に胃カク・腹部のCT・心臓エコー・眼底の検査などがあります。		週の初めに透析前後で採血があります。 透析前にレントゲンがあります。	週の初めに採血・レントゲンがあります。	適宜採血・レントゲンがあります。
安静度	透析後は車椅子で移動します。トイレ歩行は可能です。 特に指示がある時はご連絡します。		制限はありません。 指示がある場合はご連絡します。	制限はありません。	制限はありません。
食事	特別な栄養管理の必要性 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 必要に応じて栄養状態を良くするための支援を行います。 透析食となります。			栄養士より食事指導があります。	
飲水制限	医師の指示となります。				
清潔	入浴は透析ではない日に行います。 カテーテル挿入中は、看護師が身体を拭きます。 カテーテル挿入部が汚れた場合は付け替えをします。				
患者・家族への説明	主治医が検査・透析について説明をいたします。 看護師が透析室を案内し、透析の必要物品について説明します。 透析の流れや不均衡症状についてお話しします。 治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師が相談員にお尋ねください。	透析導入パンフレットに準じ、腎臓の働き・血液透析の働きについて説明します。	シヤント管理や食事・水分管理について説明をします。 透析導入時の必要書類や手続きについて説明をします。 MSWが今後通院可能な透析施設やその他相談に応じます。	ドライウエイトや日常生活の注意事項・検査データ・合併症についてお話をします。	日常生活の注意事項・緊急時の症状・対応について説明します。

※症状により、予定と異なる場合があります。分らないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医 印 担当看護師署名 担当者署名